

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%
保護者様： 9名回答、回答率 64%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・外部訪問者が教室内から分からないのでインターホンを設置したい。
- ・玄関前の段差を無くす工夫が必要。
- ・1月より児童指導員の職員が増え児童に対しても適切な人員配置になった。

○業務改善

- ・保護者からのアンケートを集計して職員にフィードバックすることにより、現状の課題を把握して業務改善につなげている。
- ・職員の資質向上の為、本社研修及び教室内研修を定期的に行っている。

○適切な支援の提供

- ・固定化しないようにプログラムを組んでいるが活動内容によっては固定化するプログラムも必要である。
- ・祝日開室の時プログラムを課外活動や保護者参加型など工夫して行う必要がある。
- ・利用者に年齢差があることから、療育プログラムを差別化する必要がある。
- ・個別支援計画に沿って職員全員が情報を共有して取り組んでいると思う。

○関係機関や保護者との連携

- ・今年度は保護者との人間関係構築に重きを置いて職員全体が取り組んできた。今年度保護者会を2回開催して、改めて職員の紹介、児童の教室の様子を伝え、児童と保護者のニーズを分析した上で支援に取り組んだ。以前は事業所に行きたくないと言っていた児童も今は楽しみにしていると保護者から評価をいただいた。
- ・地域との交流では、墨田区曳舟図書館と月に1回読み聞かせの活動を実施しており、好評であることから今後も継続的に実施していきたい。
- ・学校関係者、特に担任の先生と、他事業所も交えて支援会議を実施したことで連携強化に努めることができた。結果、教室支援に大いに役立ったと考えられる。

○保護者への説明責任等

- ・保護者から頂いた意見や要望は教室スタッフと確認・共有し即座に対応している。保護者会も定期的開催して伝達事項は説明している。

○非常時等の対応

- ・基本情報シートに基づき、緊急連絡先、医療関係ともを一覧にして対応している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・教室が移動して広くなった。
- ・以前の教室と比較して整備されたように感じる。
- ・室内で粗大運動を実施するには狭く感じる。
- ・4月から管理者、職員が変わって良くなった。
- ・フロアは段差などはありませんが、出入口付近がスロープでは無かった。

○適切な支援の提供

- ・公園遊びなどを取り入れて欲しい。
- ・健常児との交流は無かったと思います。
- ・他の放課後デイとの交流も無かったと思います。

○保護者への説明等

- ・通所のエリアの関係で学校が偏り保護者同士も固まっているように感じます。

○非常時等の対応

- ・どちらとも言えないとの意見多数

○満足度

- ・去年の4月に職員が変わって安定してきた。
- ・現在は職員の方が一生懸命やってくれているので以前より更に良くなった。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・祝日、長期休みの際に課外活動のニーズも多い為、課外活動プログラムの立案を増やし職員の支援力をあげることを目標とする。
- ・今年度最後の保護者会を3月に開催予定であり、教室と取り組み(個別改題、課外活動非常時の対応や個人情報等)の説明を行いたい。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・教室体制の説明が不十分であり、保護者に伝えていたが体制、設備で一部周知出来ない部分もあったこと事から非常時対応や個人情報管理等の説明を今後周知して行きたい。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・職員全員が遠慮せずその日の児童の情報交換をしており、支援内容で良かった点、改善点、取り入れたい話し合いをして職員が助け合って取り組んでいる。
- ・児童や保護者のニーズに合わせて教室として出来る範囲の中で公園遊びや、地域との交流に積極的に取り組んでいる。
- ・曳舟図書館との読み聞かせ交流
- ・ボランティアの方を教室に招いてワークショップ
- ・近所の公園遊び
- ・学校関係者との支援会議を実施して迅速に対応した。
- ・教室の雰囲気明るい
- ・職員の離職率がゼロ

○改善点

- ・避難訓練やハザードマップの設置は実施しているが保護者への説明が不十分であった。
- ・緊急時対応や個人情報の取り扱いは次回の保護者会で周知が必要な改善点



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・新規利用者に対して、送迎範囲の拡大は図れないため、自己入退室が出来る中学生は保護者に説明して送迎の負担を減らして、新規の小学校低学年の受け入れを増やして行きたい。
- ・自教室で専門職を増やして児童のニーズに合った支援を強化したい。

○1年間で取り組む具体策

- ・課外活動等のプログラムを充実させていく。
- ・保護者参加型のプログラムの実施。
- ・スマートキッズ教室間での交流を増やす。
- ・新規利用者希望の体験プログラムの実施。

スマートキッズ